

介護等体験に係る事務取扱事項について（令和4年度後期10月～3月）

社会福祉法人 京都府社会福祉協議会

介護等体験の実施にあたっては、京都府介護等体験実施要項及び京都府介護等体験実施に係る取扱要領ならびに下記の事項により事務を進めていただくようお願いします。

御不明な点は本会（地域福祉・ボランティア振興課 TEL：075-252-6294）までお問合せください。

1. 提出書類について

① 「週間コード表」について 後期：令和4年7月29日（金）提出締め切り

学生の受入計画については、別添1「週間コード表」の受入可能な週に受入人数を御記入ください。なお、介護等体験は5日間必要です。各週コードが基本になりますが、貴施設の状況により、祝祭日等により受入できない日がある場合は別の日程を御記入いただきますようお願いいたします。

② 「施設概要票」について

学生への連絡には「施設概要票」を使用しています。記載内容は本会のホームページにて公開（ただし、閲覧は大学のみ）しますので、公開不可の情報については「施設概要票」には記載せず、該当する大学もしくは学生に別途御連絡をお願いします。

「施設概要票」の記入（新規・修正等）は受入決定の通知の際に改めてご依頼させていただきます。

③ 「請求書」・「介護等体験終了報告書」について

体験終了後に「介護等体験終了報告書」（別添2）に学生に交付した証明書の写し及び「請求書」を必ず添付して請求を行ってください。

「請求書」・「介護等体験終了報告書」は受入決定の通知の際に送付させていただきます。

2. 学生の受入調整について

① 学生受入の決定通知について 令和4年9月6日（火）までに通知予定

学生の受入調整結果は、「受入計画書」の御提出をいただいたすべての施設に通知いたします。

② 調整後の具体的指示事項等について

調整後に具体的な指示事項がある場合は、学生もしくは大学と個別にお願いします。

③ 受入調整後の期日変更、再調整等について

大学、学生もしくは貴施設において、やむを得ない事情により再調整等の必要が生じた場合は、個別に調整いただき、調整結果について本会へ御連絡ください。

3. 体験終了証明書の発行について

学生の教員免許申請に必要な書類ですので、必要事項を漏れなく御記入の上、必ず公印を押印いただきますようお願いいたします。

※終了証明書「体験の概要」欄については、事務処理都合上、高齢者・(知的・身体) 障害者・児童などの区分と「利用者の介護等」と記載願います。

(本会で、「利用者の介護等」のゴム印を準備しております。御利用される事業所は御連絡いただければ、送付いたします。)

4. 事業実施に関する費用

介護等体験費用として、下記の金額をお支払いします。

1人1日あたり 1,100円/1日×5日=5,500円

5. その他

①他の資格との関連について

下記の文部省(当時)通達により、他の資格取得に際して介護実習等およびボランティア活動は、介護等の体験に算入できることになっています。したがって、大学から他の資格取得のための、介護実習等をもって介護等体験を終了したものとして証明書を発行してほしい旨の依頼があった場合、証明書を発行することができません。

ただし、実習期間が過去の年度のものである、実習の内容がそぐわない等、個別に判断を要する場合がありますので、大学からの依頼があった場合は、御相談いただきますようお願いいたします。

(参考)

「小学校および中学校の教諭の普通免許状授与に係る教員免許法の特例に関する法律の施行について」(通達)「平成9年11月26日 文教教第230号」

3 留意事項

(1) 介護等の体験内容等について

①「～受入施設において行われた他の施設の資格取得に際しての介護実習等は、介護等の体験として、介護等の体験期間に算出し得ること。」

②学生の健康診断書および誓約書について

健康診断書は各大学から送付されますので、不都合がある場合は各大学に御連絡ください。大学によっては体験当日に学生自身が持参する場合があります。なお、保菌検査等の提出を求める場合や検査項目および有効期限・提出期限等指定がある場合は、必ず概要表に記載をお願いいたします。また、施設独自の誓約書様式での提出を希望される場合は、事前に京都府社会福祉協議会へお申し出ください。

③食費等、必要経費について

学生から直接お受け取りください。

④ 体験中の事故等について

体験中に事故等が生じた場合は、直ちに本会及び大学にお知らせください。